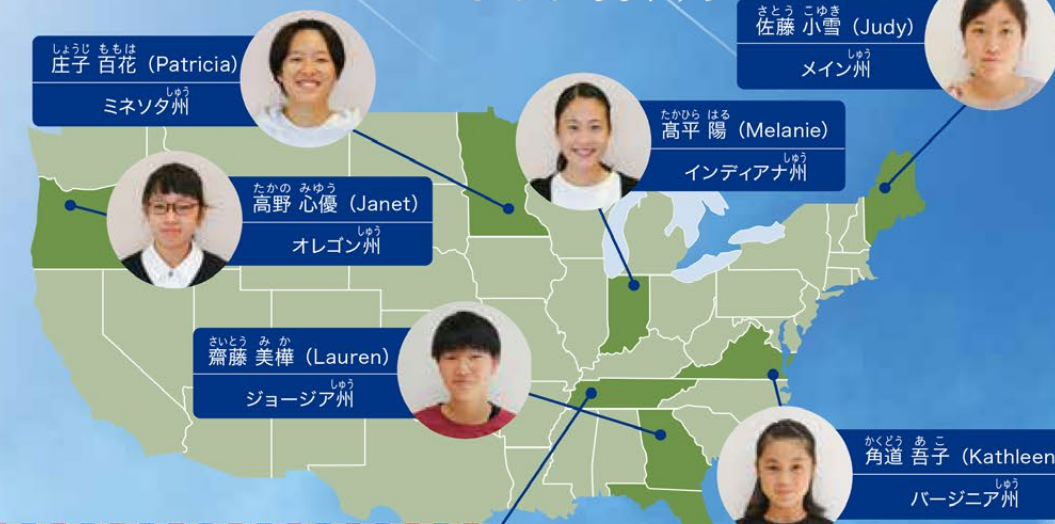


アメリカ長期留学プログラムが再始動



アメリカへ渡って約3ヶ月がたちました。毎日どんなに忙しい時でも、ホストファミリーとのコミュニケーションが一番大事にしながら楽しい日々を過ごしています。

私の学校は、始まってすぐにコロナで1度休校になり大変な経験もりましたが、いつもホストファミリーが様々な面で支えてくれ、笑顔にしてくれます。真実を言うことにためらいを感じても、勇気を出して伝えると優しく受け止めてくれ、本当の家族のように接してくれます。互いの意見を尊重し合い、感謝の気持ちを常に持つことはとても大切です。今後さらなる成長を胸に頑張ります。

テネシー州
高橋 花菜 (Becky)

フロリダ州
和田 京花 (Brenda)

昨年渡米が決まっていた6名のアメリカ長期留学生は、日米のコロナ感染拡大と渡航禁止政策により、留学を延期しなくてはなりませんでした。いよいよこの夏、今年の留学生2名(高平陽さんと高野心優さん)と共に派遣先へと旅立ちました。

アメリカの水際対策によって渡米後はホストファミリー宅で2週間の隔離生活からスタートした生徒もあり、これまでの留学とは違って忍耐が求められる場面もまだ多い状況ですが、北はミネソタ州、南はフロリダ州と、8つの州に分かれて学校生活や現地の人々との交流に楽しみながら取り組んでいます。

2022年夏出発の留学生も選考が始まり、明泉の留学プログラムはコロナ禍に負けることなく進んでいます。

AWAY WE LEARN 賛同企業との「顔合わせ会」

去る7月、「A Way We Learn」留学支援プログラムにご賛同いただき、留学奨学金の原資となる寄付をくださった企業の方々をお招きして、留学生との顔合わせ会を開催しました。今年度の賛同企業は80社にのぼり、世界に羽ばたく留学生の成長を支えてくださっています。

フロリダ州での学校が始まってから3週間、毎日新しい発見をし、ワクワクしながら生活しています。私の学校は7時20分に始まり14時20分に終わります。各授業の教室はすべて移動し、授業が一緒になるので、いろいろな人と交流できることが気に入っています。料理の授業ではクラスのはんどが1~2歳年下なので、私も同じ年だと勘違いしていました。また体育では、担当の先生が持ち場としてのトレーニング室で、毎授業、筋トレしています。日本とは違った授業形式がとても楽しいです。



こちらから賛同企業一覧をご覧ください

同窓生

高森いちょう組担任 原口 ひなの先生
高森37回生

高森なら組副担任 菊池 千春先生

千春先生が年中のときの担任でした

高森で今年度のいちょう組担任を務めている原口ひなのです。高森フレンドクラブを卒業し、中1アメリカ研修旅行に参加した後、ハイスクールまで明泉に通っていました。私が幼稚園の先生を自覚したきっかけは、小学5年生の時に弟が産まれたことです。幼い頃から小さい子供と触れ合うことが好きで、弟の身の回りのお世話をしたり、一緒に

に遊んだりする中で楽しさや満足感を味わっていました。このような楽しく、やりがいを感じる事ができる職業はないかと考えた時、叔母が保育士になったかっという話を聞きまして。それから教育者を自覚するようになり、就職先に迷いを感じていた時、明泉幼稚園での楽しかった時間と当時の担任の先生の優しさ溢れる笑顔思い出しました。そして、今度は自分が先生という立場になって、恩返しをしたいと自然に思い始めました。日々の保育の中で自分の無力さに挫折しそうな時もありますが、子供達の笑顔と元気に日々助けられています。明るく素直で可能性に満ち溢れた子供達の思いを引き出し、共に感動し、挑戦する心を忘れずに、これからも頑張っていきたいと思えます。

Bible verse

主はあなたに告げられた。人よ、何がよいことなのか、主があなに何を求めておられるのかを。それは、ただ公正を行い、誠実を愛し、へりくだって、あなたの神とともに歩むことではないか。

聖書 ミカ書 6章8節

明泉が大事にしてきた基本的価値観「コア・バリュー」

このシリーズでは、明泉学園の教職員全員で共有し大事にしている価値観、考え方を紹介しています。ぜひ、皆さんの生活でも役立ててください。

第2回

誠実 Integrity & Truth 真実を語り、真心を尽くす

園長 タニエル・ファンガー

今回は2つ目のコア・バリュー「誠実」について紹介します。明泉では、この「誠実」というコア・バリューを以下の4つのポイントにまとめ、先生達が仕事の中で実行するように心がけています。

- 1. 真実が語りにくい時でも正直であること**
ミスや過ちを犯したとき、人は正直に報告せず、嘘をついたり、ごまかしたり、また一部だけ報告して、都合の悪い部分は隠したい誘惑に駆られるかもしれませんが、それは神様に喜ばれる態度ではありません。神様はありのままを正直に報告することを願っています。勇気を出して正直に報告し、謝りましょう。そうすれば、同じミスに犯しにくくなり、逆に信用につながります。また、人の悪いところを見たとき、見ないふりをして本当のことを言わないのも、神様に喜ばれる態度とはいえません。思いやりを持って、その人を助ける気持ちで、自分だったらどう言ってもらいたいかを考えて、優しく話してあげましょう。
- 2. 正義を愛し、悪や曲がったことを避ける**
人は正しくないとわかっていることでも、自分の得になると思えばやってしまうかもしれません。逆に正しいと思っていることでも、自分の損になると思えばやらないかもしれません。しかし、それも神様に喜ばれる態度ではありません。人も会社なども、神様の前に正しくないと、一時的にうまくいったとしてもその成功は長く続きません。正しくないことはいつか明るみに出て、信用を失います。また、それを隠そうとしたら言い訳をすれば、ますます信用を失ってしまいます。目先の損得に惑わされてはいけません。いつも神様の前に正しく生活することが本当の成功です。

直ぐな人の誠実は、その人を導き、裏切り者のよこしまは、その人を破滅させる。 <箴言 11:3>

人は悪をもって身を堅く立てることはできず、正しい人の根はゆるがない。 <箴言 12:3>

正しい秤/誠意を尽くす
聖書には、「正しい秤」という言葉が出てきます。「人を判断したり評価したりするときには公平に行う」、「公正な仕事をする」という2つの意味で使われています。

不正な裁判をしてはならない。弱い者をひきしまたり強い者にへつらったりしてはならない。あなたの同胞を正しくさばかなければならない。 <レビ記 19:15>

人を評価するときは、誰に対しても分け隔てなく公正に行う。他人を見る基準で自分自身も見られることを覚え、むやみに人を批判したりけなしたりしない。そして間違いを指摘するときも、「いつくしみ」と「まこと」の心を持って行うように、との意味が含まれます。

あなたがたは、さばきにおいて不正をしてはならない。物差しにおいても、秤においても、分量においても。 <レビ記 19:35>

欺きの秤は主に忌み嫌われ、正しい重りは主に喜ばれる。 <箴言 11:1>

昔は、何かを売るときには秤や重りを使って目方ははかり、代金を受け取っていました。その秤や重りに仕掛けを施すなどしてごまかすはいけないと、聖書では教えられています。明泉では、「正しい秤」以上に、いただいている保育料・授業料以上の価値を与えられるようにとよく教職員に話します。園を信頼し子供を預けてくださっている保護者の方に対して、その期待にこたえるだけでなく、それ以上のことができ

るよう、最善を尽くしたいと考えています。それは、神様にも喜ばれることだと信じています。

4. 心の思い、言葉、行動のすべてが神様に喜ばれるように
私達の創造主である天の神様は、私達のすべてを知っています。誰も見ていないときにやったことも、口から発するすべての言葉も、心の思いや動機までも神様は見えておられます。たとえ、私達の嘘や不正が他人に知らなくても、いつか神様の前で言い開きをしなければなりません。そのことを考えながら、日々神様に喜ばれるように行動しましょう。

主の御目はどこにでもあり、悪人と善人を見張っている。 <箴言 15:3>

結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。神は、善であれ悪であれ、あらゆる隠れたことについて、すべてのわざをさばかれるからである。 <伝道者の書 12:13-14>

皆さんも、この4つのことを考えて守れるように頑張ってください。「自分に不利な状態にあっても嘘をつかずに正直に語る」、「他人の良くない点を指摘するときも、どのように伝えたと受け入れやすくなるかを考え、優しく伝える」、「正しくないことは参加しない(これは他人の悪口を言ったりいじめたりすることや、ごまかすことや盗むこと、どんな悪でもです)」、「神様が私達の心の思いまて知っておられることを覚え、神様に喜ばれるようにする」、「誰かに仕事や作業を頼まれたりしたときは、いやいや最低限のことではなく、最高品質の高い仕事をする」。これらができれば、自分も人にも喜ばれます。ぜひ、「誠実」な生き方を身につけられるように頑張ってください。



No.196
AUTUMN
2021



Fantastic Fall at Meysen!

朝晩は涼しい風が吹くようになったと感じたり、「リーンリーン」という秋の虫の声に気づいたり、獲れたてのサンマがお店に並んでいることに気づいたり——秋の訪れを感じる瞬間は人それぞれですが、この数年は夏が長く秋が短くなったような気がしますね。皆さんはこの短く美しい秋ならではの自然を目で見て肌で感じながら、いもほり、たき火、感謝祭、ジャンボリーなど明泉の秋の行事を楽しんでください!

茶長のいもほり



プレミアスクールのたき火



フレンドクラブ・プレミアエレメンタリー低学年のジャンボリー

先生達はどんな仕事をしているのかな? Part 5

明泉のお仕事紹介 英語部サポート

「英語部サポート」の一年

10月-1月

新年度から勤務する新しい先生達が日本に入国し、仙台での生活を始めます。入国ビザの手続きやアパートの準備、空港での出迎え、生活のお手伝いで多忙になる時期です。また、クリスマスは英語の先生達にとって家族と一緒に過ごす大切なイベントです。冬休みに一時帰国するためのフライトチケットの手配や出入国手続きを手伝います。



新しい先生のためのアパートの準備

2月-3月

新しい先生達は、仙台での生活や日本人の文化・習慣に慣れておらず、環境の変化で体調を崩したり、インフルエンザなど感染症がはやる時期でもあるため、一日に何度も病院に走ることがあります。同時に、3月で退職、帰国する先生達の出国手続きや引っ越し、最繁忙期を迎えます。



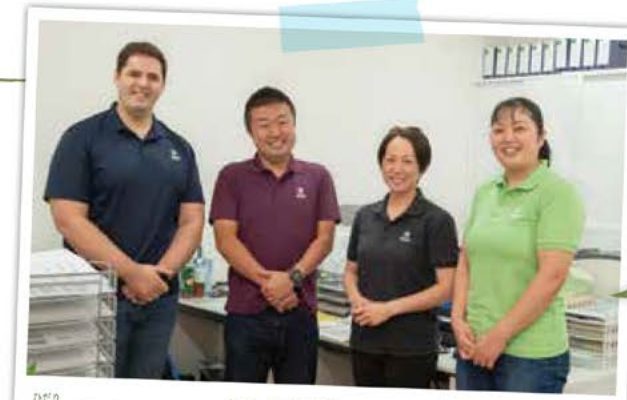
9月に到着した新しい先生達を連れてキャンパスを案内。昨年度まで高森フレンドクラブで英語を教えていたジョッシュ先生も、現在は英語部サポートで仕事をしています

4月-9月

引っ越しで出た電化製品や食器などの掃除・整理や、夏休みで一時帰国したり国内外を旅行したりする先生の各種手続きを手伝います。

ジョッシュ先生より

私の仕事で最も大きな部分を占めているのは、新しい英語の先生の採用です。採用面接のみならず、仙台での生活や配属部門に一日も早く慣れるよう手助けします。先生達を支えることは、学園を支えること、そして子供達が園で学びながらかけがえのない経験をすることもつながっていますので、私はこの仕事が大好きです。



留学や仕事で慣れない海外生活の苦労を私達も味わったことがあるからこそ、明泉の先生と日本に来てくださる先生方に日本と滞りなく楽しく生活でき、少しでも長い間明泉にいてもらえるように全力で取り組んでいます。

佐久間先生は、先生達の海外の運転免許を日本の免許に切り替えるサポートや、フレンドクラブやプレミアスクールの園外行事の下見から予約、当日の取組みなども担当しています。

英語の大会で明泉生が大活躍

去る9月11日、聖ウルスラ学院主催による第10回ウルスラ英智イングリッシュコンテストの本選審査が行われました。コロナ感染拡大のためビデオ審査となり、会場にいるたくさんの人々の前で発表はできませんでしたが、予選から本選に進んだ58名中、明泉生5名が見事入賞を果たしました。発表の機会は、集中して練習する方や心の持ち方、そして人前で自分を表現する度量を身につけてとてもいいチャンスです。2021年度もあと半年。英語はもちろんのこと、スポーツや音楽など、特技や興味を持っていることに自信と目標を持って、楽しく続けていきましょう。

グランプリ

これからも英語の勉強を続けていきます

日々の努力が認められ、とても嬉しいです

ウルスラ 英智賞

丸山プレミア G8 齋藤 汐音 (Ariel)

東北放送賞

丸山フレンド4年 小泉 瑞奈 (Luna)

丸山フレンド2年 宮崎 愛梨 (Madison)

暗唱の部 B 最優秀賞

丸山ハイスクール9年 伊藤 咲春 (Sue)

暗唱の部 C 最優秀賞

高森プレミア G8 工藤 珂恩 (Jill)

スペシャルサポーター賞

明泉幼稚園の文字活動 漢字仮名交じり文で日本語力を伸ばしています

幼稚園の保育室をのぞくと、漢字がたくさんあることに驚きます。明泉幼稚園では、大人が漢字を使う言葉は漢字で記すようにしています。ホワイトボードには、「お約束」とか、夏場だと「水分補給」、行事が近づくと「合同練習」などの文字がよく見られます。音だけで意味を持たない平仮名より、意味があって形もおもしろい漢字を、園児は喜んで覚えます。書く練習はさせませんが、毎日使う漢字はすぐに読めるようになります。また、歌の歌詞や聖書の言葉など、幼稚園で読む文は漢字仮名交じり文で表記しています。「め・い・せ・ん・は・た・の・し・い」と、ひらがなを1文字ずつ拾って読むより、「明泉は楽しい」のほうが読みやすく、意味も取りやすいです。漢字仮名交じり文で読むことにより、大人が文章を読むのと同じようにすばやく理解し、読解力も身につきます。園では、漢字仮名交じり文でルビ(振り仮名)のない絵本を独自に作成しています。毎月1冊、楽しみながら読んで日本語力を伸ばしています。



副園長 辻潤



漢字仮名交じり文に多彩な絵を添えて制作した明泉独自の絵本教材



フレンズ・スクエアのお披露目式を開催しました

昨年3月に完成した丸山キャンパスの「フレンズ・スクエア」。コロナウィルス感染拡大で1年半ごしの開催となりましたが、9月25日にお披露目式を行いました。司会を明泉コーラスサークル「コール・ラルゴ」に長年携わってこられた米田裕子さんにお引き受けいただき、「フレンズ・スクエア」完成の報告に続いて、テノール歌手の佐藤淳一さんやソプラノ歌手の岩瀬ゆう子さんなど明泉ゆかりの音楽家の方々により、心に染み入る歌と演奏が行われました。参加した同窓生の方からは、「園児時代や小学生時代に、両親をはじめたくさんの人達から愛されて育ったことを改めて認識し、とても幸せな気持ちになりました。そして、いただいたその愛を次の世代に伝えたい」という願望を持ちました。これからも、私のように幸せになれる人達をたくさん育ててください」との大変嬉しいメッセージもいただき、「フレンズ・スクエア」お披露目のみならず、コロナ禍に不安の中で家族や周りの人々と絆を感じられる温かい雰囲気となりました。

※お披露目式は、建設にあたってご寄付をくださった方々をお招きしました。



ジャン・ブローマン理事長から参加者の方々への感謝の式辞

僕の先生 私の先生



僕達フレンドクラブのジューダ先生について紹介します。ジューダ先生は、フレンドクラブが始まる前の遊ぶ時間では、僕達といつもめいっばい遊んでくれます。鬼ごっこをする時は足の速いジューダ先生に捕まられないように、僕達は全力で走ります。授業ではいつも笑顔でわかりやすく教えてくれ、英語が苦手な僕でも授業が楽しいです。時には恐竜や動物のおもちゃを使って笑わせてくれます。そしてジューダ先生は、運動神経が抜群でバク転もできる先生です! そんなジューダ先生は、僕達の憧れの先生です。

丸山フレンドクラブ2年生 葉 勇翔 (Spencer)

高森フレンドクラブ6年生 伊藤 理乃 (Samantha)



明泉学園サイトをリニューアル

9月より、明泉学園のホームページが新しくなりました。豊かな自然に囲まれたキャンパスを上空から撮影した映像や、生き生きと過ごす子供達の様子をぜひご覧ください。

www.meyesen.ac.jp

